

誤接合（クロスコネクション）について

○誤接合（クロスコネクション）とは

誤接合（クロスコネクション）とは、水道の給水管と水道水以外の管（井戸水等の管）とが直接接続されている状態のことをいいます。

誤接合は水道法で禁止されています。

○なぜ禁止されているのか

水道の給水管と水道水以外の管が接合されていると、バルブの故障や操作不良により、井戸水が水道本管に逆流する恐れがあります。

この逆流した水が汚染されていた場合、飲用に適さない水を飲んでしまったり、汚染された水道水により広範囲に病気を引き起こしてしまいます。

○誤接合になっていることが確認された場合

市指定給水装置工事事業者に連絡し、速やかに水道の給水管と水道水以外の管を切り離してください。費用は使用者負担となります。

また、水道課で誤接合を確認した場合、「管の切り離し」が確認できるまでの間、水道水の供給を停止します。

水道水が汚染され、被害が出た場合は、原因者の負担となります。

水道法施行令第5条第1項第6号、

市給水条例第10条、第46条第6号、第47条、市給水条例施行規程第5条第4項

安全な水道水を確保するため、ルールを守ってください。

